

年 史 「あゆみ」

- 平成 9年 4月27日 呼びかけに応じて鳴子コミセンに46名が参集した。
- 5月 7日 毎週1回の勉強会を開催し約20名が参加した。
- 6月18日 発起人会を開催し、15名が署名した。
- 8月30日 創立総会と記念講演会を開催し、約300名が参加した。
- 9月 1日 個人宅に事務所を設け暮らし助け合い活動を開始した。
- 平成10年 5月 2日 事務所を鳴子町4丁目コーポ鳴子に移転した。
- 平成11年 7月 7日 NPO法人として愛知県から認証された。
- 9月 8日 子会社として有限会社介護みどりを設立した。
- 平成11年 11月21日 第1回厚生省基準ホームヘルパー2級養成研修を開始した。
- 平成12年 3月26日 第1回ホームヘルパー2級養成研修の修了生42名のうち16名が登録した。
- 平成12年 4月 1日 有限会社介護みどりが介護保険事業(居宅介護支援および訪問介護)を開始した。
- 平成14年 9月30日 有限会社介護みどりを解散し、NPO法人たすけあい名古屋に介護保険事業を営業譲渡した。
- 平成15年 6月12日 事務所を鳴子町1丁目鳴子団地80棟に移転した。
- 平成16年 5月29日 名城大学でホームヘルパー2級養成研修を開始したが、平成18年5月20日第3回で休止した。修了学生の多くは障害者(児)の支援に活躍した。
- 平成16年 9月 1日 障害者(児)の支援事業を鳴子町1丁目フリースペース(旧ヤマハ音楽教室)で開始した。
- 平成17年 7月 1日 ホームヘルプなるこを開設した。
- 7月16日 児童デイなるこを開設した。
- 平成18年 1月22日 第8回ホームヘルパー2級養成研修の終了をもって休止した。この間に通信過程3回、1級過程1回を開催した。
- 平成18年 5月31日 介護みどり姥子山を廃止し、介護みどりに統合した。
- 7月 1日 デイサービス鳴子を開設した。
- 平成19年 12月29日 デイサービス姥子山を廃止した。
- 平成20年 1月31日 けあプラン姥子山を廃止し、けあプラン鳴子に統合した。
- 4月 1日 緑福社会館「わくわく通所事業」の指定管理者となる。
- 4月30日 中高生デイなるこを開設した。
- 平成21年 1月19日 児童デイわかばを開設した。
- 平成21年 2月25日 「鳴子団地再生に向けた生活創造型エリアマネジメント構築」(国土交通省土地・水資源局土地政策課委託・50万円)の報告会および意見交換会が開催された。(参加8団体)
- 平成22年 3月31日 「中山間地域の活性化との補完連携による郊外団地再生マネジメント構築事業」(内閣官房地域活性化統合事務局委託2,000万円)の調査報告書を提出した。
- 平成22年 4月 1日 生活介護のん・たんを開設した。
- 平成23年 10月 1日 小規模多機能型居宅介護施設「鳴子のおひさま」を開設した。